

**平成 23 年 10 月 24 日改訂(第 3 版)

*平成 21 年 7 月 31 日改訂(第 2 版)

機械器具(13)聴診器

一般医療機器 機械式聴診器 13755000

ウェルチ・アレン 聴診器

【禁忌・禁止】

- ・本品は乾熱又は高圧蒸気滅菌は行わないこと。[熱による変形・劣化の恐れがある]
- ・本品を振り回すなどの扱いをしないこと。[ヘッド部分の脱落やチューブの断裂により周囲に危害を及ぼす恐れがある]

*【形状・構造】

代表例

5079-125



5079-321



5079-135



17461



【性能、使用目的、効果又は効能】

本品は、患者の体内音を聴取するために用いる機械式聴診器である。

**【品目仕様等】

バイノーラル部は、使用者に合わせて角度、装用圧の調節可能(ディスプレイ聴診器は除く)。

**【操作方法又は使用方法】

1. 付属のイヤークリップ(「ソフト」及び「ハード」各 2 サイズ)から、使用者の耳道に最も合うものを選択してバイノーラル部先端に取り付ける。
2. バイノーラル部の角度を使用者の外耳道に最も合う角度に調節します。角度の調節は、片側のバイノーラル部を把持して反対側を好みの角度になるよう回転させる(通常イヤークリップが僅かに前方を向く様に調節します)(但しディスプレイ聴診器は調節不可)。
3. イヤークリップの使用者の外耳道への装着圧を使用者の好みにより調節する。圧を弱くする際は、バイノーラル基部の両側を把持して、外側へ広げることで行います。圧を強める際は、バイノーラル部を内側へ絞る(但しディスプレイ聴診器は調節不可)。
4. チェストピース(ヘッド)部は、ダイヤフラム付の高音域用とベル型の低音域用に分かれています。聴取する体内音に応じて使用するヘッドを選択して下さい(但しディスプレイ聴診器は調節不可)。
5. 患者の聴音部に押し当て、体内音を聴取する。

**【使用上の注意】

- ・本品に患者の体液・血液などが付着した場合は、速やかに洗浄又は拭き取りの上、感染予防のための処置(殺菌・消毒)を行って下さい。
- ・チェストピースを患者に使用する際は、不快感などを与えないため過度の力を加えなで下さい。
- ・本品の使用法に熟達していない場合は、本品の使用法を熟知した指導者の指導・監督の下で使用して下さい。
- ・チェストピース部は、洗浄などのため液体に直接浸さないで下さい。内部に液体が侵入し、完全に乾燥されない場合体内音の聴取に影響が出る可能性があります。
- ・バイノーラル部は、必要以上に曲げないこと。バイノーラルのバネが折れることがある。
- ・紫外線殺菌灯などの設置された場所に放置すると、イヤークリップ、チューブ、リムなどが劣化する恐れがある。
- ・ディスプレイ聴診器は一人の患者のみに使用し、他の患者には使用しないこと。

【貯蔵・保管方法】

清潔な場所に保管して下さい。

**【保守・点検に係る事項】

洗浄・清掃方法

- ・イヤークリップとチューブは消毒用エタノールで拭くか、中性洗剤液で洗浄した後、完全に乾燥させる。
- ・チェストピース部は、消毒用エタノールを含ませた柔らかい布などで拭いた後、完全に乾燥させて下さい。
- ・ダイヤフラムを取り外して清掃する場合は、ダイヤフラムをチェストピースに固定しているリムを押しはずして取り外します。取り外したダイヤフラムを取り付ける際は、チェストピース上にダイヤフラムを乗せ、押しはずしたリムを元の位置に確実に戻して下さい。
- ・ディスプレイ聴診器は一人の患者のみに使用し、他の患者には使用しないこと。

【包装】

本体:1 セット又は 1 組

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-15 錦精社ビル

電話番号:03-3219-0071

外国製造所

ウェルチ アレン、インク (アメリカ合衆国) Welch Allyn Inc.